

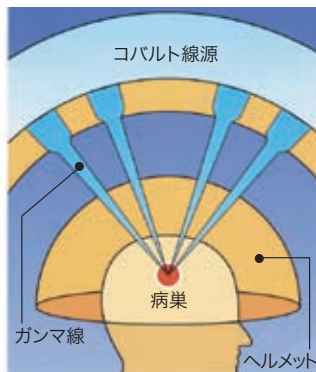
チームによる連携で円滑な治療を目指しています

ガンマナイフセンター外来 看護師 後閑 美千代

看護部よりこんにちは

ガンマナイフとは

201本の放射線（ガンマ線）ビームをコンピュータ制御で脳内の病巣に集中させて行う治療で、一度に多量の放射線を病巣にあてることができるのが特徴です。対象疾患は、脳腫瘍などの脳内病変に限ります。実際の治療は、治療前日に入院→治療→退院と、わずか3日間程度の入院期間で済みます。（治療に関する詳細は、ホームページをご覧ください。）



ガンマナイフ対象疾患（脳内病変）
脳動静脈奇形、聴神経腫瘍、転移性脳腫瘍、
髄膜腫、下垂体腺腫、神経鞘腫、三叉神経痛など

当院での治療

日本では51台（2007年2月現在）のガンマナイフが稼動し、当院でも1997年、日本で15番目に導入しました。治療件数は年々増加傾向にあり、昨年は年間330件を超えました。また、当院で治療を受ける患者さんの約9割は、全国各地の医療機関から紹介された患者さんです。



チーム医療

入退院に際し、紹介先の医療機関との連携が重要となります。また、短期間の入院にも関わらず、多岐にわたる検査・治療を行う必要があるため、院内での連携も重要となります。

そこで、患者さんが安心して入院生活を送れること、治療が安全かつ円滑に行えることを第一に考え、ガンマナイフ治療に関わる3部署（外来・病棟・放射線科）によるガンマナイフチームというチームを発足しました。

3部署の核となる看護師を中心に、医師・看護師・放射線科技師・事務との連携を図り、2泊3日の短期間の中で、患者さんが戸惑うことのないよう活動しております。

チーム内で連携を図ることにより、患者さんの情報を共有し、お一人お一人に合った看護が提供できるよう努力しております。

ガンマナイフという聞き慣れない治療を受けに来られる患者さんは、多くの不安を抱えていらっしゃると思います。入院前から退院後まで、何かお困りのことなどございましたら、いつでもガンマナイフセンター外来、担当看護師までご相談ください。チームによる連携で、スムーズに対応できるよう心がけております。

本年4月より、ガンマナイフセンターは脳神経外科より独立組織となったため、今後もチームが一丸となり、ますます連携を深め、患者さんに満足していただけるような看護を目指していきたいと思っております。

ガンマナイフに関するお問い合わせ

ガンマナイフセンター外来

（平日8時30分～17時）

03-3448-6148(直通)

※完全予約制となっているため、受診ご希望の方は、事前に電話予約をお願いいたします。